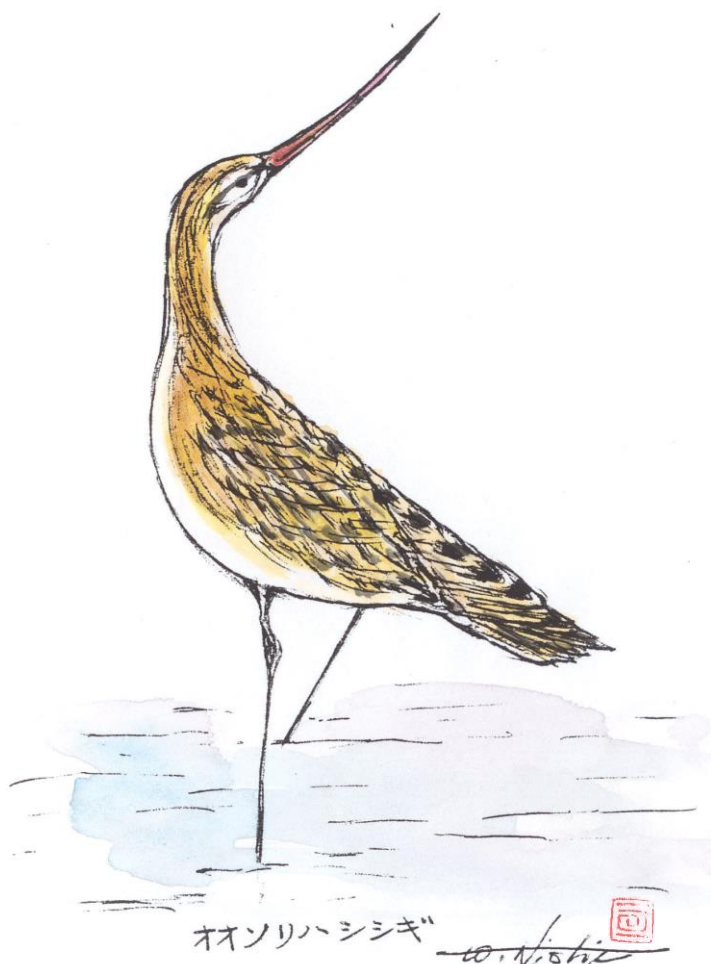


2019

# せきれい

宝塚野鳥の会会報  
Vol 108 SPRING



宝塚野鳥の会

目 次

宝塚野鳥の会趣旨	川合 寛	2
宝塚野鳥の会標語	河中 三朗	2
行事		
全国一斉ガンカモ・カワウ調査に参加	編 集 部	3
湖北探鳥会	川道 克昌	5
寄稿		
オーストラリア・タスマニア探鳥記	持田 倫子	7
三太郎日記 16	彦根 宏道	16
野鳥川柳	武田 玲子	22
フォトコーナー	山尾文明・持田倫子・石田俊二	23
事務局便り		
行事予定4月～6月	片山 忠	25
活動報告1月～3月	〃	26
定例探鳥会で見られた野鳥リスト12月～2月	編 集 部	27
定例探鳥会案内4月～6月	編 集 部	29
会員異動(12月～2月)	片山 忠	29
探鳥会報告(12月～2月)	編 集 部	30
野鳥撮影マナーいろいろ	〃	37
新聞拾い読み	〃	38
原稿募集	〃	40
裏表紙によせて		
表紙画	松村 基子	42
裏表紙画	西村 亘	
	松村 基子	

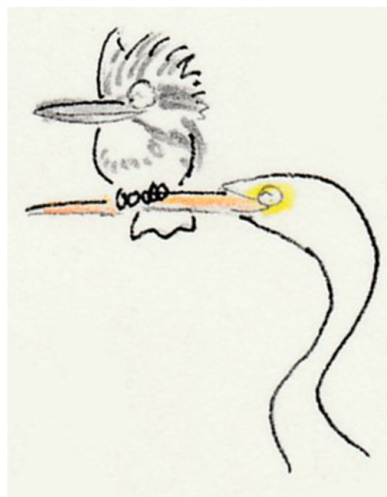


イラスト 久保由紀子さん



## 裏表紙に寄せて

### シマエナガ

春は、あけぼの。やうやうしろくなり行く、山ぎはすこしあかりて、むらさきだちたる雲のほそくたなびきたる。

清少納言の名文に、これ以上の表現はないなと感服し、眼下の街のひろがりを見ながら、早朝のラジオ体操の公園への道を歩む。今日ウグイスの初音を聞いた。「なかなか上手」2月27日。

この冬は、比較的暖冬だったようで、初音は早いのだろうか。

私の鳥見は、もっぱら散歩とバス待ちの街路樹に、チラチラ動く鳥の影を追うこの頃で、見かける身近な鳥に癒されている。

まだ、裸の木々の枝を素早く縦登りしている、しましまシャツのコゲラ君、ギイという声に「見~つけた!」。ちょっと首をかしげるしぐさで木の虫をついばんでいるのか、サラリーマンネクタイのシジュウカラ。若草色に大きな白いメガネの睦まじいメジロ夫婦。一羽二羽と目にもとまらぬすばやい動きで、来ては飛び立つ小さな体に長い尾、チラリと見せる肩羽根の紅紫色が、つつましい可愛いエナガ。北海道のシマエナガは白い小さな綿ボンボンのようにかわいい、かわいい~

こんな混群が通りすぎることはめったに無く、思わず「キクイタダキは?」期待するが、この街でそんな話はたしか25~30年前のこと。

それでも時々アオゲラやヤマガラの声も聞こえてくる。「年を取ったなあ」と実感しながら、住み慣れた街に自然を見つけ、健やかに同居人と毎日が送れる事を願い感謝している。

松村 基子

#### ★シマエナガ

スズメ目 エナガ科 エナガ属 体長 14cm 体重 8.6g

雪の妖精や、雪ん子バードと呼ばれ、ころんとした真っ白な姿が大人気である。

北海道にのみ生息し、日本で最も小さな鳥で、体調 14cm のうち半分が長い尾になっている。雌雄同色、森林性で群れを作る習性が強い。



シマエナガ

せきれい 通刊 108 号

発行日 平成 2019 年 4 月 1 日 (春号) (年 4 回発行)

発行所 宝塚野鳥の会事務局

〒665-0046 宝塚市福井町 26-14 片山 忠 方

編 集 せきれい編集委員会

ホームページ <http://yachou-takarazuka.life.cocan.jp/>

【無断禁転載】